

土 ～子どもとともに作り上げる築山～

活動スケジュール

★ 4月 腐葉土を作る

★ 5月～土絵の具を作る

★ 9月～すべり台を作る

★ 2月 腐葉土を使って
球根を育てる

当園の広い園庭にあふれる自然の中でも、「土」をテーマとして設定する。当園の園庭には築山があり、子ども達が手や足といった全身を使って実際に触れることができる環境にある。子ども達は穴を掘ったり、土をバケツに集めたり、水たまりからできた泥を触ってみたりと、土に興味を示す姿が見られた。そのため、土に存分に触れ、その特性を知り、また新しい土の活用方法を考える活動は、土に対する興味関心が深められると考えたため、上記のテーマを設定した。

活動内容

★ 築山や築山の土でいろいろなことをやってみよう ★

～腐葉土作り・土絵の具作り・泥だんご作り～
～すべり台（ウォーターライダー）作り～

・ 枯葉を集めて袋に入れ、数日置いてから腐葉土を作る場所へ枯葉と米ぬかを入れ、土と混ぜ合わせた。



・ 腐葉土に久しぶりに触れると「うわあ！ふかふかの土になってる」「気持ちいいね」と話していた。プランターに土を入れ球根を植えると「お花が咲くのが楽しみだね」と話していた。



・ 土を使い土絵の具を作った。そのままの土では、荒くて紙から剥がれ落ちてしまったため、ふるいにかけてサラサラの土にして行くと紙にくっついた。土絵の具を作る過程で様々な土の感触を味わうことができた。



・ 泥だんご作りは水の混ぜ具合を調整しながら作っていた。「見て見て」と出来上がった泥だんごを友達同士で見せ合っていた。



◎準備した素材や道具

- ・ 子ども用軍手
- ・ ふるい
- ・ 球根
- ・ スコップ
- ・ バケツ
- ・ たらい
- ・ 米ぬか

・ すべり台（ウォーターライダー）作りは築山を掘りながら何度も水を汲んできては流すを友達と繰り返し、実際にお尻ですべて確認していた。



活動を振り返って...

築山を掘って遊べるということが、子ども達にとって、とても魅力的なことで、一年を通してのびのびと遊ぶことができた。最初は汚れることに抵抗のあった子どももいたが、遊びの中で役割をこなしていくうちに自然と服の汚れを気にせず全身で泥を楽しめるようになった。また、同じ土でも葉っぱを混ぜたりふるいにかけてみたり、水と混ぜ合わせたり等、泥の柔らかさ、冷たさ、匂い、色など多様な感触に触れ、気づくことができ、良い経験となった。

土 ~子どもとともに作り上げる築山~

当園の広い園庭にあふれる自然の中でも、「土」をテーマとして設定した。園の園庭には築山があり、子ども達が手や足といった全身を使って実際に触れることができる環境にある。子どもたちは、穴を掘ったり、土をバケツに集めたり、水たまりからできた泥を触ってみたりと、土に興味を示す姿が見られた。そのため、土に存分に触れ、その特性を知り、また新しい土の活用法を考える活動は、土に対する興味関心が深められると考えたため、上記のテーマを設定した。

活動スケジュール

- 4月 土や砂に触れよう
土や砂の違いとは？
- 5月~ 築山遊び
- 9月 土粘土に触れてみよう
- 11月 土粘土での築山づくり
- 2月 築山づくり

活動内容

- ◎土や砂ってどんなもの？
- ◎土粘土に触れてみよう！
- ◎みんなの築山をつくろう！

【準備した素材や道具】

- ・砂 ・絵本 ・たらい ・土粘土
- ・溶き皿 ・平筆 ・バケツ
- ・子ども用軍手 ・スコップ
- ・ラミネーター ・デジタルカメラ
- ・複合機 ・インク

☆土や砂に存分に触れる☆

土や砂の違いを触って比べてみたり、水を混ぜたら質感がどのように変化するのか、性質の違いや変化を観察した。



「サラサラしてる」「つめたい！」「お山の土に水を混ぜたらチョコレートみたい！」「タブタブする」「お野菜を育てる土はふわふわしてるね」

☆土粘土に触れ土の性質を探究する☆

土粘土に触れ、感触や質感を楽しみ、普段使っている油粘土や紙粘土の違いを知り、土の性質を探究した。



「かたい！」「レンガみたい！」「においに変だぞ？土のにおいかな？」「だんだん固くなってきた！」「お水かけたら、トロトロとけてきた」「土で遊んでいる気分だね♪」

☆築山をもっと ワクワクする場所に☆

築山遊びの経験から、子ども達の「こうだったらもっといいのにな！」という願いを、造園業者さんの協力のもと実現した。



「滑り台あるといいな！」「テーブルとイスも置きたい！」「秘密基地で遊びたい！」「トンネルもあるといいね！」「虫もたくさんいてほしい♪」「がんばって穴を掘るぞ！」「新しいお山、楽しみだね♪」

活動を振り返って

土や砂に触れ、その感触を楽しむ姿が見られた。特に、水を混ぜて固さや感触が変化することに興味を示していた。築山遊びでは、土に存分に触れ、水を流したり、ツルツル滑る性質に気づきウォーターライダーに見立てて遊んだりする姿も見られた。

土粘土の活動では、土粘土特有の固さや性質に触れ、土や泥と共通することに気づいていた。

「自分達の築山づくり」では、今までの経験から、新たな築山を作ることを存分に楽しんでいた。

土を通して「なんでだろう？」「こうしたらどうなるかな？」「やってみよう！」と子どもの探求する心が育ったと感じる。

土 ~子どもとともに作り上げる築山~

令和7年度
聖徳大学八王子幼稚園

当園の広い園庭にあふれる自然の中でも、「土」をテーマとして設定した。当園の園庭には築山があり、子ども達が手や足といった全身を使って実際に触れることができる環境にある。子どもたちは、穴を掘ったり、土をバケツに集めたり、水たまりからできた泥を触ってみたりと、土に興味を示す姿が見られた。そのため、土に存分に触れ、その特性を知り、また新しい土の活用法を考える活動は、土に対する興味関心が深められると考えたため、上記のテーマを設定した。

活動スケジュール
4月 苗を植える
7月 野菜の収穫
9月 再生土作り &種まき
2月 野菜の収穫

☆準備した素材や道具☆

- ・園芸用の土 ・プランター
- ・苗 ・肥料(再生材) ・軍手
- ・じょうろ ・デジタルカメラ

活動内容

☆栽培活動☆

~再生された土で野菜を植えてみよう~

①再生土を準備し、子ども達がプランターに土を入れ、ナスとトマトの苗を植えました。再生土に触れ、「やわらかい」「ふわふわしてるね」と感触に気づくことができました。



②ナスとトマトが実り、収穫をした。毎日水やりをして、花が咲いた、実ができた、収穫時期についても気づくことができていた。「美味しそうだね」と言い自分達で育てた野菜を収穫して嬉しそうだった。



③ナスとトマトの収穫後、再生材を入れて子ども達がかき混ぜプランターに移し、種を植えていった。土をかき混ぜると、「下は冷たいよ」「気持ちいいね」と言って感触を楽しんでいた。



④種から育てたかぶが育ち収穫をした。かぶを育てた達成感からとても大喜びでどんな大きさのかぶが抜けるかドキドキしていた子ども達だった。漬物にして頂くとおかわりをする程、喜んで食べていた。



活動を振り返って...

二度再生材を入れて土に触れて、栽培活動を行っていき、昨年使用した園芸用の土に触れた時には、葉っぱがたくさん入っていたことで、触れることに躊躇する様子が見受けられ、見た目です感った様子が見られた。その後ふるいで土をきれいにしたことで、抵抗なく触れることができた。苗から野菜を育てた経験から、次は種から野菜を育ててみると、一度使った土に再生材を入れたことで、「これを入れると、土が元気になるんでしょ」「魔法の土なんだね」と言って、土が元気になって野菜が育つことに気が付くことができた子ども達だった。野菜を育てるには元気な土が必要で、園庭の土や砂場の砂とは違う土であることにも気が付くことができた。最後に自分達で育てた野菜を食べたことで、食育へも繋がり、とてもよい体験となったようだった。

土 ～子どもとともに作り上げる築山～

令和7年度
聖徳大学八王子幼稚園

当園の広い園庭にあふれる自然の中でも、「土」をテーマとして設定した。当園の園庭には築山があり、子ども達が手や足といった全身を使って実際に触れることができる環境にある。子どもたちは、穴を掘ったり、土をバケツに集めたり、水たまりからできた泥を触ってみたりと、土に興味を示す姿が見られた。そのため、土に存分に触れ、その特性を知り、また新しい土の活用法を考える活動は、土に対する興味関心が深められると考えたため、上記のテーマを設定した。

活動スケジュール

5月～10月

砂場あそび

活動内容

☆砂場で遊ぼう☆

☆準備した素材や道具☆

砂・砂カバー・塩ビ管
たらい・角型たらい・ホース
バケツ・ペットボトル

☆砂の感触を教師が尋ねると、「冷たいよ」「気持ちいい」と話す姿が見られた。



☆大きさや太さ、形の違う塩ビのパイプを、縦にして丸の形の跡が出来ることを発見し、「丸の形ができたよ」「本当だ!」「おもしろいね」「ぼくもやってみたい!」など会話が弾み、友達の姿が良い刺激となり真似るところから遊びが広がっていった。



☆タンクの栓が開いていて滴のように流れ、そこを塩ビ管で水のトンネルを作って流す姿が見られた。



活動を振り返って...

☆塩ビ管をL字に組み合わせて、砂場にあった穴に向かって設置し、「水入れよう」とペットボトルに水を入れ、みんなで塩ビ管から水を流し入れていた。塩ビ管の先にあった穴の水がいっぱいになると、塩ビ管を解体し溜まった穴を掘りすすめていた。途中で水を流し入れていたが、解体した塩ビ管がたまたまL字に横向きになっていてこの形でも水が穴までとどいて入ることに気づき数回流し入れて喜ぶ姿が見られた。

初めて塩ビ管やジャグ、たらいを使った事もあり、塩ビ管や水があってもしばらく遊びが発展しなかった為、教師から「川を作りたいな」と言う形になってしまった。子どもの意見や発見をまてなかったことは反省である。水を使い始めたばかりなので、最初は子ども達で話して遊びを広げたり、遊びを継続したりするのは難しいと感じたが、段々と砂場での遊びを経験していくにつれて場合によっては教師からの助言も必要なこともあるため、回数を重ねていくことで子ども達から様々な気づきや発見が出るように仕向けていきたい。教師は焦らず子どもの姿を見守っていきたい。塩ビ管の組み立ては、これまで他の学年の子ども達が作っていたのを見ていたり、子どもたち自身も繰り返し作ったり遊んでいた中でできたものだと感じた。



土 ~子どもとともに作り上げる築山~

令和7年度
聖徳大学八王子幼稚園

当園の広い園庭にあふれる自然の中でも、「土」をテーマとして設定した。当園の園庭には築山があり、子ども達が手や足といった全身を使って実際に触れることができる環境にある。子どもたちは、穴を掘ったり、土をバケツに集めたり、水たまりからできた泥を触ってみたりと、土に興味を示す姿が見られた。そのため、土に存分に触れ、その特性を知り、また新しい土の活用法を考える活動は、土に対する興味関心が深められると考えたため、上記のテーマを設定した。

★活動スケジュール★

- ★ 5月 容器を使って土遊び砂場遊び
- ★ 6月 土遊び
- ★ 10月 築山の土遊び

★準備したもの素材や道具★

- ・砂・砂カバー・スコップ
- ・バケツ・たらい・角型たらい
- ・ペットボトル

活動内容

☆築山の土遊び・砂遊び☆

築山に大きな穴を見つけ、スコップやバケツを持ってみんなで穴を掘り始め大きな穴になった。



ドロドロになった土を見て、「わあーチョコレートみたい!」「おいしそう!」と会話が弾んだ。すると、石や葉っぱ・木の実を探し始め、チョコレートの中に入れ、チョコレート作りへ。さらに、チョコレート屋さんごっこへと変化し、「おいしくできました!食べてくださーい!」「チョコレートください。」「はいどうぞ!」とやりとりを楽しんでいた。泥の中に手を入れることに抵抗のある子どももいたが、ごっこ遊びに夢中で自然と泥に触れることができた。

一人の子どもがペットボトルに水を入れ、築山まで運び大きくなった穴の中に水を流し始めた。その様子を見ていた他の子どもも同じように水を運び、穴に水を溜めることを楽しむ姿が見られた。

活動を振り返って...



最初は、築山でどのように遊んだら良いのか分からず戸惑っている姿が見られた。年中、年長組が遊ぶ姿を見て刺激を受け、真似て遊ぶことからのスタートだった。土遊びが大好きで次第に自分たちでやりたい遊びを楽しめるようになった。お店屋さんごっこやお料理ごっこ・泥団子作り、水と砂を混ぜるなど、体を十分に使って楽しめるようになった。年齢的なこともあり、途中で飽きてしまう子どもはいたものの、いやでやめたというよりは、満足してやめたといった印象だった。また、友だちとの関わりも深まったように感じる。